

<b>神の住まい、聖徒の喜び詩篇 132:13-18</b>	2022. 11. 6 丘の上 NO. 690 春日部福音自由教会 山田豊
--------------------------------	--

地上にいる間、キリスト者が集まる教会は、やはり良いものであってほしいとは、ごく普通に考えることだと思います。キリストの教会は、キリストを信じる者の集まりであり、普遍的な面とともに、それぞれの国や地域に目に見える形で教会が建てられています。家の教会という小さなものから、世界遺産になるような立派な教会まで、千差万別です。どのようなものであれ、教会を建て上げていくというのは、とても大きな働きです。

本詩篇の背景には、2サムエル7章にかかれています、ダビデが神のために神殿を建てようと決意したことがある、とされています。1-5節にあるように、並々ならぬ決意で、神殿の建設に取り掛かろうとしたのです。実際には、その働きはソロモンにゆだねられていきました。今日も、教会を建て上げるために、牧師はもちろんのこと、教会員も一生懸命になってこの働きに参加していく姿に、本詩篇を重ねることができます。

9節と16節は、同じことを歌っています。神殿で仕える祭司は、その働きにふさわしく義の衣、救いを着せられていること、そして神殿に集う神の民である聖徒たちは、大いに喜んでいるのです。もとより、神殿は神を礼拝するところです(7節)。神との交わりを縦軸とすれば、聖徒たちの交わりは横軸と言えるでしょう。この両方の軸があって十字架できるように、神への礼拝と互いの交わりが、教会のあるべき姿です。

コロナ禍にあって、この二つのことが大きく制約されてきました。本来の教会の営みが、できなくなっているのです。これはどうしても回復されなければなりません。教会が楽しい場所、喜びの場所で無くなったら、そこに行くことも集うことも意味がないと言っていいでしょう。詩篇133篇には、家族のような交わりの姿が描かれています。よく、教会は家族であると言われますが、その言葉の実を味わいたいのです。

17節以降には、ダビデの子孫たちに言及されています。これは、実際に国を治めた王のことだけではなく、油注がれたメシヤ、救い主であるイエスキリストの誕生につながっていきます。イザヤ9:7「その主権は増し加わり、その平和は限りなく、ダビデの王座に就いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これを支える。」などのみ言葉が、証ししているとおりです。

本詩篇を通して、イエスキリストが血をもってあがなってくださった教会の姿を、改めて心に留めましょう。

引用聖句

2 サムエル 7:27-29 イスラエルの神、万軍の【主】よ。あなたはこのしもべの耳を開き、『わたしがあなたのために一つの家を建てる』と言われました。それゆえ、このしもべは、この祈りをあなたに祈る勇気を得たのです。28 今、【神】、主よ、あなたこそ神です。あなたのおことばは、まことです。あなたはこのしもべに、この良いことを約束してくださいました。29 今、どうか、あなたのしもべの家を祝福して、御前にとこしえに続くようにしてください。【神】である主よ、あなたがお語りになったからです。あなたの祝福によって、あなたのしもべの家がとこしえに祝福されますように。」

1 歴代 22:7-8 ダビデはソロモンに言った。「わが子よ。私は、わが神、【主】の御名のために宮を建てる志を持ち続けてきた。8 しかし、私に次のような【主】のことばがあった。『あなたは多くの血を流し、大きな戦いをしてきた。あなたがわたしの名のために家を建ててはならない。わたしの前に多くの血を地に流してきたからである。

1 サムエル 7:1 キルヤテ・エアリムの人々は来て、【主】の箱を運び上げ、丘の上のアビナダブの家に運んだ。そして、【主】の箱を守るために彼の息子エルアザルを聖別した。

2 サムエル 6:3 彼らは、神の箱を新しい荷車に載せて、それを丘の上にあるアビナダブの家から移した。アビナダブの子、ウザとアフヨがその新しい荷車を御した。

マタイ 22:11 王が客たちを見ようとして入って来ると、そこに婚礼の礼服を着ていない人が一人いた。

イザヤ 7:14, 15 それゆえ、主は自ら、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。15 この子は、悪を退けて善を選ぶことを知るころまで、凝乳と蜂蜜を食べる。

イザヤ 9:6, 7 ひとりのみどりごが私たちのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。7 その主権は増し加わり、その平和は限りなく、ダビデの王座に就いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これを支える。今よりとこしえまで。万軍の【主】の熱心がこれを成し遂げる。

イザヤ 11:1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。

ハガイ 1:10, 11 それゆえ、あなたがたゆえに、天は露を滴らすのをやめ、

地はその産物を出すのをやめた。11 わたしはまた、日照りを呼び寄せた。地にも山々にも、穀物にも新しいぶどう酒にも油にも、地が産み出す物にも、また人にも家畜にも、手によるすべての労苦の実にも。」

ハガイ 2:6,7 まことに、万軍の【主】はこう言われる。『間もなく、もう一度、わたしは天と地、海と陸を揺り動かす。7 わたしはすべての国々を揺り動かす。すべての国々の宝物がもたらされ、わたしはこの宮を栄光で満たす。——万軍の【主】は言われる——

使徒 2:45 財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた。

使徒 6:1 そのころ、弟子の数が増えるにつれて、ギリシア語を使うユダヤ人たちから、ヘブル語を使うユダヤ人たちに対して苦情が出た。彼らのうちのやもめたちが、毎日の配給においてなおざりにされていたからである。

1 列王 11:36 彼の子には一つの部族を与える。それは、わたしの名を置くために選んだ都エルサレムで、わたしのしもべダビデが、わたしの前にいつも一つのとしびを保つためである。

1 列王 15:4 4 しかし、ダビデに免じて、彼の神、【主】は、彼のためにエルサレムに一つのとしびを与えて、彼の跡を継ぐ子を起し、エルサレムを堅く立てられた。

イザヤ 9:2 2 闇の中を歩んでいた民は大きな光を見る。死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が輝く。

マタイ 4:16 闇の中に住んでいた民は大きな光を見る。死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が昇る。」